

2週間 令和7年度栄養サポートチーム(NST)臨床実地修練研修カリキュラム

	2025/6/10(火)	引率	2025/6/11(水)	引率	2025/6/12(木)	引率	2025/6/17(火)	引率	2025/6/18(水)	引率
9:00	病院概況・オリエンテーション (カルテ閲覧) 症例の決定 (A)池田Rd	事務①	身体計測 (キャリバー・インサート使用体組成測定) (A)池田Rd	栄養④	症例研究 (A)	事務②	症例研究 (A)	薬剤③	症例研究(報告書作成) (B)	栄養⑩
10:00	栄養アセスメント 経口栄養プランニングと モニタリング (A) 池田Rd	栄養①	水と電解質(A) 福富Dr	言語②						
11:00	簡易懸濁法(A) 有馬Ph	薬剤①	静脈栄養(A) 福富Dr	看護②	急性期の嚥下評価と訓練 (A) 永山Nrs	薬剤②	栄養⑨	薬剤⑥		
12:00	休憩		休憩		休憩		休憩		休憩	
13:00	褥瘡と栄養管理 (A) 村澤Nrs	看護①	検査説明・見学(E) 小林MT	検査①	地域連携(退院調整時の留意点を主に)(A)菊池MSW	事務③	NST薬剤師の実際 (A) 有馬Ph	薬剤④	認知症を含めた高次脳機能 障害患者のNST対応 (B) 吉田ST	言語③
14:00	緩和ケアと栄養管理 (A)	栄養②	カルテ閲覧(A)	不要	褥瘡カンファレンス・回診 (病棟)	栄養⑥	VE・VFIについて(A) 瀬成田Dr	看護⑤	NSTカンファレンス(A)	不要
14:30	緩和ケアチーム 木村Nrs		NSTカンファレンス(A)				耳鼻科外来 VE回診 集合	不要		
15:00	耳鼻科外来 VE回診 集合	不要	カルテ閲覧(A)							
15:30										
16:00	カルテ閲覧or VE体験(任意)(C)	栄養③	急性期の栄養管理 (A) 米山Dr	検査②	NST言語聴覚士の実際 (C) 若狭ST	栄養⑦	NST看護師の実際と役割 (C) 永山Nrs	看護⑥	研修生症例発表 (C)	全部署
17:00	リハビリ栄養(C) 辻OT	言語①	経腸栄養の種類と特徴(F) 勉強会 17:15~ 池田Rd	栄養⑤	NST管理栄養士の実際(C) 池田Rd	栄養⑧	経静脈栄養剤の側管投与方法・ 適正調剤法・薬剤配合変化 (C) 赤尾Ph	薬剤⑤		
18:00	8h		8h		8h		8h		8h	

講義場所 A:研修室1(外来棟4階) B:研修室2(外来棟4階) C:患者教室 D:2-2・2-3会議室 E:臨床検査室 F:地域医療研修センター

※ 都合により講義場所の変更がございます。

40時間研修

(3) (1)のイ、ウ及びエにおける栄養管理に係る所定の研修とは、次の事項に該当する研修であること。

ア 医療関係団体等が認定する教育施設において実施され、40 時間以上を要し、当該団体より修了証が交付される研修であること。

イ 栄養管理のための専門的な知識・技術を有する看護師、薬剤師及び管理栄養士等の養成を目的とした研修であること。なお、当該研修には、次の内容を含むものであること。

- | |
|-----------------------------|
| (イ) 栄養障害例の抽出・早期対応（スクリーニング法） |
| (ロ) 栄養薬剤・栄養剤・食品の選択・適正使用法の指導 |
| (ハ) 経静脈栄養剤の側管投与方法・薬剤配合変化の指摘 |
| (ニ) 経静脈輸液適正調剤法の取得 |
| (ホ) 経静脈栄養のプランニングとモニタリング |
| (ヘ) 経腸栄養剤の衛生管理・適正調剤法の指導 |
| (ト) 経腸栄養・経口栄養のプランニングとモニタリング |
| (チ) 簡易懸濁法の実施と有用性の理解 |
| (リ) 栄養療法に関する合併症の予防・発症時の対応 |
| (ヌ) 栄養療法に関する問題点・リスクの抽出 |
| (ル) 栄養管理についての患者・家族への説明・指導 |
| (ヲ) 在宅栄養・院外施設での栄養管理法の指導 |